

第5回セミナー さくらスクール

夏真っ盛りの8月28日(日)、ベルウィン小諸にて第5回さくらスクールを開催しました。以前から要望が多かった**眼科**に関する専門的なお話を内藤獣医師から、また、われわれ人間にとっても永遠のテーマでもある**ダイエット**についてのお話を小山看護師からさせていただきました。

今回は、「もっと専門性の高いものを！」とのアンケート結果をうけての内容となりました。みなさんの評価が気になるところでしたが、大変好評をいただくことができました。

さらに、恒例の協賛企業様からのお土産に加え、今回は**滑らない床**(すべらんワン)の商品展示もありました。こちらは予想以上に好評でした。

毎回のことですが、オーナー様方が肩の力を抜いて、動物達の近況や日頃の疑問についてお話し頂けることをとてもうれしく思いました。

さて、次回のテーマはまだ未定ですが、**3月25日(日)**に開催予定です。皆様からのアンケート結果を参考にしながら内容を決定していきますので、楽しみにしていて下さい！事前予約も可能です☆

〈セミナーの風景〉



みなさん真剣です！



大好評♪院長への質問コーナー!!

さくら通信

《号外》

平成23年9月発行

発行者

さくら動物病院
新聞編集委員
増山 山浦

お知らせコーナー

携帯サイトでもさくら動物病院にアクセスしていただけるようになりました!!!詳しくは....



10月の休診日

午後休診日

院長不在日

ホームページ

<http://www.sakura-komoro.jp>

メール会員募集中!

メルマガ随時配信中!

眼の病気

獣医師 内藤政和

眼の病気は犬猫で非常に多く見られ、犬では30～40%が外来診察で何らかの眼科疾患が見つっています。また緑内障のように手遅れの場合に失明する危険性があり注意が必要です。

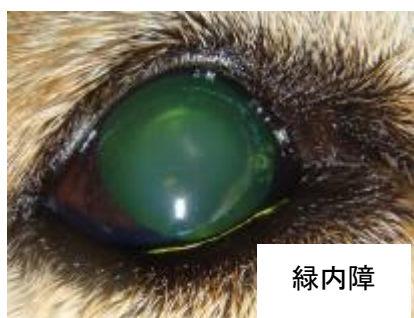
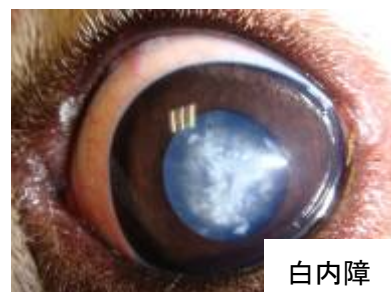
しかし、眼は私たちが直接見ることができるため日頃から動物と向き合い、アイコンタクトを心がける事で物言わない動物たちの病気を早期に発見することができます。

<犬猫の眼科疾患の特徴>

【犬】眼の病気の80%は**遺伝性**

⇒犬種や毛色により発症しやすい病気が異なる。

【猫】**感染症**（特にウイルス感染症）による眼の病気が多い。



※以下の様な症状がある場合は注意が必要です。

一つでも当てはまれば当院へご相談下さい。

- 眼が白い 眼が赤い
- 眼がしょぼしょぼする（→痛み、まぶしい）
- 眼やにが多い 涙が多い 眼をこする（→痛み、かゆみ）
- 何となく元気がない（動きたがらない） 物にぶつかる

眼ドック（定期診断）のすすめ

眼の病気も他の病気と同様に「**早期発見**」「**早期治療**」が大切です。緑内障など病気によっては治療の遅れが失明につながる危険性があります。また『**眼は全身状態を映す鏡**』といわれるように眼の症状が全身性の病気のサインになっている可能性もあります。このような場合は全身的な検査が必要になります。

<眼ドックの流れ>

- ①一般眼検査 ②シルマー涙液試験（シルマーティアテスト）
- ③角膜染色（フルオレセイン染色）④眼圧測定
- ⑤スリットランプ検査 ⑥眼底検査 ⑦エコー検査



眼を病気から守るポイント

- ① 眼の病気は年齢にかかわらず発生します。ですから若いうちから日頃のスキンシップの中でしっかり眼をチェックしましょう。
また、いざというときの為に眼に触れるように訓練しておきましょう！
- ② 眼は普段の生活で直接見ることができます。
よって、わずかな眼の変化や行動の変化に気づけば早期に病気を発見できます。手遅れは失明の危険性があります。ちょっとした症状が早期発見の最初で最後の『**ワンチャンス**』です。



※詳しい内容や各検査の詳細などはスタッフまでお尋ね下さい。



「猫まばたき」の真相は？



「目は口ほどに物を言う」という言葉があります
猫も相手に気持ちを伝えるために目を使います
猫が相手に愛情を伝える方法

- ① 猫が湿った鼻をあなたにくっつけてくる (wet nose kiss)
- ② 子供を舐める母猫のように、猫があなたの指や顔を舐めたりする
- ③ 猫の人間への究極の愛情表現！

“投げキッス”に相当するという
“ゆっくりまばたきするジェスチャー”

猫があなたを見ながらゆっくりまばたきをしたら、
猫があなたを家族の一員として認識し、信頼している証拠
～ゆっくりまばたき～ = ただ眠たいだけ…
ではありませんよ



院長 横山篤司

今回のさくらスクールでは『ダイエット』についてお話させていただきました。
太っている事によって、様々な病気のリスクが高まる原因にもなります。
そこで、ダイエット方法としてオススメするのが『食餌療法』です。

- ①フードの回数を少量頻回にする
- ②早食いを防ぐ
- ③おやつあげ方を工夫する
- ④いつもの食事量から一つまみ少なくする



すぐに出来、とても簡単な方法でダイエットしやすい体へと変えていきます。
また、ダイエット成功の秘訣として、

- ・フードの量をきちんとはかる
- ・おやつは総カロリーに含める
- ・体重は週に1度測る



私たち飼い主自身の意識を高める事により一緒にダイエットする事が出来ます。
ぜひ、スリムなボディーで長寿を目指しましょう!!

動物看護師 小山 玲奈

第5回さくらスクールアンケート集計結果！

今回セミナーに参加していただいた方の内、31名にご意見・ご感想を頂きましたので集計結果とともにお知らせします。

- ☆ 今回のセミナーの内容について
(回答数 31人)
- 大変良かった・・・23人 (71%)
 - 良かった・・・7人 (23%)
 - まあまあ・・・1人 (3%)
 - 悪い・・・0人



お土産コーナーも盛況でした！

<理由 (抜粋)>

- ✓ ダイエットの具体的な方法が知ることができて参考になった
- ✓ 眼疾患についてこれからの目安になった
- ✓ 院長のトピックスが良かった
- ✓ 説明が資料に沿って、わかりやすかった
- ✓ 内容が深い、詳しい
- ✓ 普段わかりにくい検査の様子が、写真や動画で見られてよかった
- ✓ 普段聞けない話が聞けてよかった
- ✓ 院長の質問コーナーの時間を充分にとってあって、よかった
- ✓ 資料と説明方法が上手だった
- ✓ 眼の心配が出てきた時なので、参考になった
- ✓ 説明不足と感じた



<今後開催してほしいセミナーのテーマはありますか？>・・・ある：14人

- | | |
|---------------------|---------------|
| ✓ 獣医療の発展 | ✓ 予防医学 |
| ✓ 犬猫のしつけ全般 | ✓ 多頭飼いについて |
| ✓ 老犬介護 (大型犬) | ✓ 犬猫をどう迎えるか |
| ✓ 仔犬や仔猫の話 | ✓ ペット用品の選び方 |
| ✓ 皮膚病、脱毛 | ✓ サプリメントについて |
| ✓ 看取りについて | ✓ ケガをした時の応急処置 |
| ✓ 日々のケア (歯磨き、爪切りなど) | ✓ 歯、耳、関節 |



<その他 ご意見>

- ✓ いかに関日常のチェックが大切かと思いを新たにした
- ✓ 治療だけではなく、ペットにとって幸せなことは何かを改めて教えてもらった
- ✓ お土産が多く、ありがたい
- ✓ すべらなくなる商品など、毎回新しい発見があっっておもしろい
- ✓ テーマに沿わない個人的な質問は、個々に回答してほしい

以上になります。アンケートにご協力頂いた方、貴重なご意見ありがとうございました。
次回以降のさくらスクールや、日々の診療に生かしていければと思います。

第5回さくらスクール担当 佐々木 岡村 牛込